

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月3日

(コード番号:7460 大証第2部)

上場会社名 株式会社 ヤギ
(URL: <http://www.yaginet.co.jp>)

(TEL: (06)6266-7332)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 ・八木秀夫
責任者役職・氏名 取締役経営管理部長 ・門川幸司

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近事業年度に
おける認識の方法との相違の有無 有・**無**

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1)売上高

	百万円未満切捨	
	百万円	%
平成16年3月期 第3四半期	87,837	-
平成15年3月期 第3四半期	-	-
(参考)平成15年3月期	116,095	-

- (注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
2. 売上高の数値は、未監査であります。
3. 売上高の数値は、決算期や半期のような会計上の修正を行っておりません。
4. 当該四半期は適用初年度となりますため、前年同四半期実績との比較は行っておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、景気への大きな改善のないまま、低迷状況で推移し、引き続き雇用や所得に対する不安から、個人消費の停滞した厳しい経営環境で推移しました。加えてイラク戦争と長引く終戦処理、SARSの猛威と再発の可能性、と言った世界的問題により、消費者の心理に動揺が広がりました。

< 繊維事業 >

当第3四半期における繊維事業の部門別の経営成績は次のとおりであります。

「原料部門」

綿糸は、国内の各産地が輸入製品に押され、需要は低調な状況が続きました。また、綿花の不作と中国での綿糸生産の拡大により、綿花の値段が急騰、国内の定番綿糸の販売においては、その価格面からも販売が難しくなりました。

合繊糸は、中国市場での需要が活発なことから、定番糸を中心とする国際価格においての糸値は比較的高値で推移しました。一方、差別化系や品質を優先する国内メーカーを中心とする国内糸の値段も、綿糸価格の上昇につれて高値で安定した状況となりました。

このような環境のなか、当社は、紡績メーカーとタイアップした付加価値商品の開発を

行い、国内の優良取引先への提案とともに、中国・韓国への販売ルートの確立に努めました。

その結果、原料部門での売上高は237億5千万円となりました。

「テキスタイル部門」

テキスタイルは、安価な輸入製品の影響により、国内での定番素材の販売は非常に困難な状況であり、加えて、綿糸高により原料高の生地安状態となりました。このような環境のなか、テキスタイル部門は、市場ニーズに適応した、短サイクル・小ロットの商売を行うとともに、丸編み生地をカラーリスクするテキスタイルプロジェクトを積極的に推進いたしました。

その結果、テキスタイル部門での売上高は182億1千7百万円となりました。

「繊維二次製品部門」

生活資材は、中国からの輸入品の影響を受け、市場価格が下落し販売が伸び悩みました。このような環境のなか、当社は環境対応型の素材に付加価値をつけた差別化商品の販売に努めました。

繊維二次製品は、冷夏・暖冬と言った天候異変に加え、引き続き個人消費の低迷により、取引先アパレルや量販店における売上の減少と在庫の増加により、商売は非常に厳しい状況となりました。このような環境のなか、二次製品部門は優良得意先への差別化素材を用いた企画提案の商売を推し進めました。

その結果、繊維二次製品部門の売上高は435億7百万円となりました。

< 不動産事業 >

当第3四半期における不動産事業の売上高は2億8千3百万円となりました。

(2)当第3四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象記載すべき項目はありません。

3. 平成16年3月期の業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

[業績予想に関する定性的情報等]

今後の国内経済の見通しにつきましては、引き続き景気の低迷や、厳しい雇用情勢等により、個人消費は冷え込んだ状態で推移すると考えられます。

また、中国を中心とした繊維二次製品の大量輸入により、国内の原料やテキスタイルにおける定番商品の販売も、ますます難しくなることが予想されます。

このような経営環境のなか、当社は、原料、テキスタイル部門におきましては、素材メーカーとの取り組みによる、市場ニーズに適応した差別化素材の開発を行うとともに、二次製品部門におきましても、優良取引先への差別化素材を活用した魅力のある商品の企画、提案を強化することにより、商売の拡大に取り組んでまいり所存であります。

以上